



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「小柳ルミ子」

八月二十九日の『ラフ新報』に小柳ルミ子の記事が載った。僕は彼女のファンで、学生の頃、サンタ・クララ教会のクリスマス祝会で、「わたしの城下町」を振り付けて踊ったことがある。バカ受けしたが、赤面の至りであった。

「多くのヒット曲を生み、女優としても活躍する小柳ルミ子さん。デビュー前から二人三脚で歩んできた母、愛子さんは八十六歳で他界した。亡くなる前の5年間の闘病生活は、ごく当たり前の母娘として過ごした貴重な時間だった。平成十三年、地方の仕事から戻り、羽田空港に着くと福岡の病院から電話を受けました。『お母様のことで、お話ししたいことがある。なるべく早く来てほしい』と。胸騒ぎがしてその足で福岡に着くと、母は悪性リンパ腫で、明日亡くなってもおかしくはないほど危険な状態だと告げられました。目の前の先生の声が遠くに聞こえ、体の震えが止まりませんでした。その時、母の病室の扉の前に誓ったんです。『その日まで最高の演技をしよう。母の前では笑顔でいよう』母は本当に気丈で、強くて明るい。私がいじめられていたら、本人が一番辛いと思ったからです。扉を開けると、母は笑顔で『なんで来たのね？ 来んでもよかと』と言いました。仕事を差し支えると思ったようです。人に迷惑をかけることが一番嫌いでしたから。それから週に1度くらいは母の元に帰りました。一時的に東京の病院にいたときは、一緒に寝泊りしました。ドラマの撮影があったので、夜、病室の小さな明かりでせりふを覚え、3時間くらい仮眠をとって、また出掛けます。母は『ルミ子が頑張っているのに寝ているわけにはいかない』と、私が起きると起きるし、夜は私が帰るまで起きていました。不謹慎な話かもしれませんが、看病することで初めて弱い母を見ました。それまでは先生であり、マネージャーでもあった。病気がなくなって初めて親子の時間を持ち、母の優しさを身に染みて感じました。亡くなる十日ほど前、母は『ルミ子、もう頑張らなくてよかよ。ルミ子が楽しく幸せなのが一番』と言いました。それが最期の言葉、本当に優しい声でした。私の頑張りを最期に認めてくれたんです。今でも、母に褒めてほしい、喜んでほしい。それがエネルギーの源です」

パウロは「ゴールに到着してほうびを得るために、一生懸命努力しているのです」(ピリピ三・14)と語る。ゴールへの道は、それぞれ体力も、能力も、年齢も違うように皆違う。だからそのままの自分で進めば良い。それがどんな小さくてもその努力を認めてくれるお方が神だ。だから頑張れるのでは！

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

